

闘虎

No. 35
Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙
平成25年 夏季号



©日本レスリング協会

紅夏の夏！世界ジュニアで銅！

世界ジュニアレスリング選手権大会

8月13～16日、ブルガリア・ソフィアにおいて「世界ジュニアレスリング選手権大会」が行われた。JOC等の戦績が評価されて、鈴木紅夏（東洋大1年）が67^{kg}級の日本代表として出場。1回戦はB Y E、2回戦はアメリカの選手をテクニカルフォールで破ると、3回戦は台湾の選手をフォールで破り、ベスト4進出。準決勝ではカナダの選手に敗れたものの、3位決定戦でトルコの選手を鮮やかなテクニカルフォールで下し、見事銅メダルを獲得した。鈴木は国際大会でのメダルは、2010アジアカデット銀、2011のアジアカデット金に続いて3度目となった。

クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第35回

西邑楽高校



的確な新井先生の指導！
今年も先輩と天皇杯へ！

3年 主将 牧島 涼

西邑楽高校レスリング部は、昭和五十五年より同好会として発足し、渋川市立工業高校よりアジアチャンピオンとなった金子博先生が着任し、創部されました。過去には関東大会や全国大会で活躍したという素晴らしい実績があります。

現在は、顧問の新井先生のもと、三年生一名、二年生一名、一年生五名で日々練習に励んでいます。新井先生は、自ら練習に加わり、一人ひとりの改善すべき点を的確に指導し、良い点を伸ばせるようにアドバイスをしてくれます。また、休日にはOB、OGの方々が練習に参加してくれたり、他校との合同練習や合宿にも参加しています。それらを通して毎日、とても刺激のある良い練習ができています。その成果もあり、昨年は先輩方と共に天皇杯に出場することができました。

練習は厳しいですが、それだけに試合で勝ったときの喜びは本当に素晴らしいものだと思います。

先生方やOB、OGの方々、家族や仲間の支えがあり、レスリングができる環境に感謝しながら、今後とも目標を高く持ち、チーム一丸となって頑張っていきたいと思っています。

SCHEDULE

■館林市民秋季レスリング大会

9月7日（土）
館林市城沼総合体育館

■国民体育大会

10月4日（金）～7日（月）
文京区スポーツセンター

■県民総体・高校新人戦 群馬県小学生総体

11月3日（日）
館林市城沼総合体育館

■上武洋次郎杯 少年レスリング大会

11月17日（日）
邑楽町民体育館

■千代田町近接少年レスリング大会

12月7日（土）
千代田町総合体育館



小林 洋二さん（館林市・48歳）

レスラーファクトリー
「思い出の一葉」

□この写真は昭和59年、私が日体大2年のとき、奈良国体での一枚です。群馬県が総合優勝したあかぎ国体の翌年で、このときの群馬県選手団はまだ全日本クラスが揃っていました。

選手は前列左から谷先生（G74）、柳川監督、清水さん（G90）、上野先生（F57）、私（F52）、杉浦（G28）、二列目の左から岡田先生（F82）、中島さん（G68）、後列左端に金子先生（F62）がいます。この時代の国体は民泊といって、一般家庭に泊まってお世話になっていました。柳川監督は情に厚い方なので、お世話になったホストファミリーの方々に、群馬県のユニフォームをプレゼントしたことが思い出に残っています。私は今、館林市でシヨットバー「カーター」を営んでいます。レスラー仲間の話す内容といえばレスリングのことばかり。そんな話を聞くのも楽しいひとときです。

石井亜海（OSA）全少2年連続V！

全国少年レスリング選手権

7月27・28日、北海道立総合体育センターにおいて「第30回全国少年少女レスリング選手権大会」が行われた。全国少年レスリング連盟30周年、北海道レスリング協会60周年を記念して行われた同大会に、本県からも多数のレスラーが参戦。V2が懸かっていた石井亜海は、決勝で昨年も延長戦となった和光クラブの選手と、またもや延長戦となる大接戦を制し、2年連続優勝を飾った。

【小学2年】◇20[□]級 ②小林楓駕（館林）



延長となった決勝戦は石井亜海の勝負強さが出了！

【小学4年】◇26[□]級 ③加藤敦史（館林）
【小学5年】◇46[□]級 ③赤松光希（明和）◇50[□]級 ②坂上拓瑠（同）
◇55[□]級 ②中里優斗（OSA）
【女子5年】◇40[□]級 ①石井亜海（OSA）

松本篤史圧倒的優勝も プレオフで敗れる！ 明治杯全日本選抜選手権

6月15・16日、代々木第2体育館において「明治杯全日本選抜レスリング選手権大会」が行われた。仇敵・松本真也（警視庁）は学生王者・赤熊猶弥（拓大）に準決勝で敗戦。その赤熊に決勝で完勝した松本篤史が優勝を飾った。しかし、天皇杯王者・松本真也との世界選手権代表を決めるプレオフで不覚をとった。

ロンドン五輪銅メダリストの松本隆太郎の1階級上げての挑戦は、2回戦で世界選手権日本代表になった清水博之（自衛隊）に完勝。準決勝は負傷棄権したが、66[□]級でも十分戦えることを見せた。
【フリー】◇84[□]級 ①松本篤史（ALSOK）
【グレコローマン】◇66[□]級 ③松本隆太郎（群馬ヤクルト販売）



優勝インタビューを受ける松本篤史だったが...

重量級勢地元で奮戦！ 柴崎由貴と平山燎が銀！ 関東高校レスリング大会

6月1・2日、城沼総合体育館において「第59回関東高校レスリング大会」が行われた。フリー軽中量級が振るわない中、グレコ重量級2選手が決勝進出。決勝では敗れたものの、柴崎と平山の決勝戦進出は特筆されるべき活躍だった。
【フリー】◇55[□]級 ③増山郁人（館林）◇84[□]級 ③勅使川原延明（前西）
【グレコローマン】◇96[□]級 ②柴崎由貴（太商）◇120[□]級 ②平

山燎（大泉）
【女子】◇70[□]級 ③牧島涼（西邑楽）

増山汐音が決勝進出！ 小松崎・小林も第3位！ 全国中学生選手権大会

6月8・9日、茨城県スポーツセンターにおいて「第39回全国中学生レスリング選手権大会」が行われた。増山汐音が粘り強く戦い決勝進出。決勝ではMVPを獲得した奥野春菜に一步及ばなかったが、価値ある銀を獲得。男子では成長著しい小松崎脩司が力を発揮し、準決勝まで進む活躍を見せた。
【男子】◇59[□]級 ③小松崎脩司（OSA）
【女子】◇52[□]級 ②増山汐音（千代

田）◇70[□]級 ③小林奏音（邑楽）

木村優太が悔しい銅！ 館高は団体戦で8強！ 北部九州インターハイ

8月5・8日、島原復興アリーナにおいて「全国高校総体」（インターハイ）が行われた。3月の全国選抜で準優勝の木村優太が優勝を狙って臨んだが、準決勝で古沢宏野（京都八幡）に惜敗。しかし2年生の木村の全国頂点を目指す戦いは、まだ1年ある。団体戦では、館林高が27年ぶりのメダルを狙ったが、準々決勝で飛龍高校（静岡県）に2・5で敗戦。これも来年に持ち越された。



果敢に得意のローリングを仕掛ける木村優太

【個人戦】◇66[□]級 ③木村優太（館林）

飯田将彦らが第3位！ 亀山は2年連続準V！ 全日本学生選手権大会

8月21・23日、駒沢公園体育館において「全日本学生レスリング選手権大会」が行われた。昨年準Vの亀山は、今年も決勝で赤熊に惜敗したが、伊藤、池田、飯田の「3人」が第3位に食い込む活躍を見せた。女子では吉井が初優勝を飾った。
【フリー】◇55[□]級 ③伊藤優（群馬大）◇84[□]級 ②亀山晃寛（山梨学院大）
【グレコローマン】◇60[□]級 ③池田圭介（早稲田大）◇84[□]級 ③飯田将彦（東京農大）

なでしこGUNMAの レスクイーン



太田商業高校
今村 南穂さん（2年）

レスリングを始めたのはもちろん、父と兄の影響です。レスリングをやったことは、たくさんの人と出会えたことです。一番の思い出は、中学2年生で行ったインディアナ遠征です。苦しかったことは初めての減量です。尊敬している選手は、太田倶楽部、太田商業高校の先輩である鈴木紅夏（東洋大1年）先輩です。ライバルはだれでもなく、自分自身！いつもそう思って練習しています。これからの目標は、インターハイに出ることです。闘虎を通じて一番伝えたいこと、それは「レスリングは素晴らしい！」ということです。将来の夢は、保育士です。

【女子】◇63[□]級 ②上原榛奈（法政大） ③鈴木紅夏（東洋大）◇72[□]級 ①吉井瑞江（至学館大） ②新井明恵（法政大）

小学生は邑楽Jr優勝！ 中学生はOSA優勝！ 群馬県スポーツ少年団大会

8月4日（日）、群馬県総合スポーツセンターにおいて「第49回群馬県スポーツ少年団大会」が行われた。ジュニア唯一の団体戦は大いに盛り上がり、次のような結果となった。
【中学生】①おおたスポーツアカデミー ②邑楽Jr ③リトルタイガー
【小学生】①邑楽Jr ②おおたスポーツアカデミー ③明和C

ぐんまの夏の風物詩！ インディアナ州遠征！

本県夏の風物詩「日米レスリング交流事業」は、今年は遠征の年。7月23日に出発し、インディアナ州ではニューキャッスル、ザイオンズビル、ノースバーノン、3つの町をサーキット。親善試合や観光などで交流を深め、8月3日に帰国した。
◇団長 長島正彦 ◇監督 高橋信平 ◇選手 江田健二郎 木村智洋（以上館林Jr）川島功也 大川拓海 小松崎脩司 杉田周平 宮原初花 宮原乙葉（以上OSA） 斉藤浩司 櫛田充邦（以上太商）